

2010.4.1(木)

徳島新聞



指定書を伝達される徳島大病院の苛原
副院長④一県庁

がん診療連携拠点
県内4病院に
県、指定書伝達
全国でも質の高い

がん診療が受けられるよ
う厚生労働省が整備を進
めている「がん診療連携
拠点病院」に徳島大学、
徳島県立中央、徳島赤十
字、徳島市民の県内4病
院が指定され、県庁で31
日、指定書の伝達式があ
った。

4拠点病院のうち県内
のがん診療の中心的な役
割を担う「県がん診療連
携拠点病院」には徳島
大、その他は「地域がん
診療連携拠点病院」の指
定を受けた。指定期間は
いずれも2010～13年
度の4年間。

飯泉嘉門知事から指定
書を伝達された徳島大病
院の苛原副院長は「が
ん診療をハード、ソフト
両面で向上させ、県民の
期待に応えたい」と抱負
を語った。

がん診療連携拠点病院
は、診療の質の向上や医
療機関の相互協力の体制
づくりで中心となる病
院。都道府県からの推薦
をもとに国が指定する。

国の指定要件見直しに
伴い、放射線や化学療法
の専門職の配置、緩和ケ
アチームの設置などの要
件が新たに追加された。